

# 低炭素社会学ぶ「仕組み作り」を

北九州市が検討会

環境モデル都市、北九州市が目指す低炭素社会について総合的に学ぶシステムづくりの検討会がこのほど、市役所であった。議論を重ねて11月中旬に報告書を取りまとめる。

低炭素社会は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量が少な

い社会をいう。市は、環境を学んだり体験できる施設などを生かして総合的に低炭素社会を学習するシステムの構築を目指しており、NPO法人代表や大学研究者ら委員8人が参加した。

北橋健治市長は「低炭素社会を実感できる仕組みを作り、都市全体を低炭素社会の学習システムとして整備していきたい。国が新成長戦略で掲げた『環境未来都市』構想に向け提案していく」とあいさつした。

検討会で、デワンカー・バート・ジュリエン北九州市立大准教授は「学者やNPOだけではなく、市街地で暮らしている人たちを巻き込むことが大切。環境施設にわざわざ行かなくても、自分たちの

生活の中で簡単に参加できる『場』を提供する必要がある」と指摘した。【佐藤敬一】

福岡

毎日jp 毎日新聞社

## 低炭素社会:学ぶ「仕組み作り」を――北九州市が検討会 /福岡

環境モデル都市、北九州市が目指す低炭素社会について総合的に学ぶシステムづくりの検討会がこのほど、市役所であった。議論を重ねて11月中旬に報告書を取りまとめる。

低炭素社会は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量が少ない社会をいう。市は、環境を学んだり体験できる施設などを生かして総合的に低炭素社会を学習するシステムの構築を目指しており、NPO法人代表や大学研究者ら委員8人が参加した。

北橋健治市長は「低炭素社会を実感できる仕組みを作り、都市全体を低炭素社会の学習システムとして整備していきたい。国が新成長戦略で掲げた『環境未来都市』構想に向け提案していく」とあいさつした。

検討会で、デワンカー・バート・ジュリエン北九州市立大准教授は「学者やNPOだけではなく、市街地で暮らしている人たちを巻き込むことが大切。環境施設にわざわざ行かなくても、自分たちの生活の中で簡単に参加できる『場』を提供する必要がある」と指摘した。【佐藤敬一】

〔北九州版〕